

<http://kinki-sha.org/>

近畿学校保健学会通信

No.138

平成26年6月17日発行
近畿学校保健学会事務局
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内
TEL&FAX:073-441-0646
URL:<http://kinki-sha.org/>
E-mail:kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

- | | |
|------------------------------|----|
| 1 . 第61回近畿学校保健学会のご案内 | 2 |
| 2 . 平成26年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題 | 13 |
| 3 . 学会新企画 第3回 データを分析する | 14 |
| 4 . 平成25年度 第3回幹事会議事録 | 18 |
| 5 . 編集後記 | 19 |

会費納入と会員勧誘のお願い

平成26年度の会費の納入時期となりました。

平成26年度会費未納の方には、振込用紙を同封させていただきましたので、年会費（3,000円）をお振り込みいただけますようお願い申し上げます。

2～3年分の会費未納の方には額を記載してありますのでよろしくようお願い申し上げます。

また、学会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い致します。

入会案内パンフレットおよび入会申し込み用紙は、ホームページからダウンロード出来ますのでよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

第61回近畿学校保健学会
学会長 平田まり
(関西福祉科学大学 教授)

来る7月5日(土曜日)に、第61回近畿学校保健学会を大阪府柏原市の関西福祉科学大学で開催させていただくことになりました。関西福祉科学大学および関西女子短期大学では多くの卒業生を近畿圏の学校に養護教諭として送りだしています。そのような歴史をもつ本学で、この度第61回近畿学校保健学会を開催させていただくことになり大変光栄に存じています。

一般演題は、生活習慣や健康教育などのテーマで39題とたくさんのご応募をいただきました。厚く御礼申し上げます。想定いたしておりましたより多く、発表時間を当初お知らせしました時間より少し短縮させますことをお詫び申し上げます。

今回の学会のテーマは、学校保健を適切に展開する上で学校内外の人・機関と連携していくことが重要ですので、「学校保健の効果的な連携」とさせていただきます。そしてストレス社会と言われる現在、学校保健におけるメンタルヘルスの重要性は益々高くなっていますので、シンポジウムは「メンタルヘルスにおける学校保健の効果的な連携」というテーマにいたしました。4人のシンポジストの御発表を中心にしてフロアーの方々と共に活発に議論を展開していきたいと存じます。

また教育講演は「日本における疲労の実態と客観的疲労評価法」というテーマで関西福祉科学大学健康福祉学部長の倉恒引彦教授にご講演いただきます。子どもだけでなく教職員の健康を守ることも学校保健の役割ですが、倉恒引彦教授は疲労の客観的指標を用いて教員の疲労について調査されていますので、そのことについてもご講演いただきます。

このように今回発表いただく一般演題、講演、シンポジウムのいずれも学校保健において基本的かつ重要なテーマで、興味深いものです。是非多くの先生にご参加いただいて活発な意見交換を行っていただき、本学会が先生方に有意義なものとなるように祈念しております。

会場がある柏原市はぶどうの産地として有名で、丁度学会開催時期はぶどうの収穫時期です。懇親会では旬の味を楽しんでいただけるように準備しております。

第61回近畿学校保健学会に是非ともご参加いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

第61回近畿学校保健学会プログラム

日時 平成26年7月5日（土）10：00～17：10

会場 関西福祉科学大学 大学4号館（<http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp>でご確認ください。）

〒573-0171 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1

（近鉄大阪線河内国分駅より徒歩15分スクールバス10分，JR高井田駅より

スクールバス10分，近鉄南大阪線古市駅よりスクールバス20分）

時刻	用途	
9：30～	受付開始	大学4号館1階
10：00～12：00	一般演題発表 第1会場【1階104教室】 第2会場【2階205教室】 第3会場【2階206教室】 第4会場【4階405教室】	大学4号館 1・2・4階
12：10～13：10	ランチョンセミナー（株式会社明治） 「ヨーグルトと健康 - 乳酸菌は健康をまもるミクロの巨人 - 」 講師 有江泰彦（株式会社 明治 研究本部 食品開発研究所 専任部長）	大学4号館1階
13：20～14：10	評議員会・総会	大学4号館1階
14：20～15：10	特別講演 「日本における疲労の実態と客観的疲労評価法」 講師 倉恒弘彦（関西福祉科学大学教授、東京大学特任 教授、厚生労働省慢性疲労症候群研究班）	大学4号館1階
15：20～17：00	シンポジウム 「メンタルヘルスにおける学校保健の効果的な連携」 コーディネーター 平田まり（関西福祉科学大学） 「精神医療の立場から学校との連携を考える」 長尾圭造（長尾こころのクリニック） 「メンタルヘルスにおける学校内外の連携について - 養護教諭の立場から - 」 矢部貴子（大阪府立吹田高等学校 指導養護教諭） 「社会的養護の連携について」 細見久視（児童養護施設 武田塾） 「学校現場で向きあう大人と子どもたち」 太田伸治（大阪府太子町立中学校 校長）	大学4号館1階
17：00～17：10	表彰式・閉会式	大学4号館1階
17：30～20：00	懇親会	学園本館2階

プログラム（一般演題）

< 午前の部 >

一般演題（後援7分、質疑応答4分）10：00～12：00

第1会場（1階104教室）

< 食、養護教諭 >

座長 春木 敏（大阪市立大学）

- 1 - 1 中学生の生活習慣病の予防と食物摂取頻度との関連
藤原 寛（京都府立医科大学小児科），井上文夫（京都教育大学体育学科）
- 1 - 2 登校忌避感情と生活習慣との関連 ～ 食生活を中心として～
井上文夫¹⁾，藤原寛²⁾，浅井千恵子³⁾，森孝宏¹⁾
1) 京都教育大学，2) 京都府立医科大学，3) 花園大学
- 1 - 3 養護教諭養成課程の学生による下宿学生の食育指導の効果について
楠本久美子¹⁾，大川尚子²⁾，長谷川積美³⁾
1) 四天王寺大学，2) 関西福祉科学大学，3) 大阪府立藤井寺保健所
- 1 - 4 大学生の朝食摂取状況と生活習慣の関係に関する研究
奥野紗織¹⁾，小原久未子¹⁾，甲田勝康²⁾，藤田裕規²⁾，間瀬知紀³⁾，宮脇千恵美⁴⁾，
中村晴信¹⁾
1) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科，2) 近畿大学医学部公衆衛生学，
3) 京都聖母女学院短期大学児童教育学科，4) 平安女学院大学短期大学部
- 1 - 5 養護教諭志望学生への経年的「授業通信」の発行とその効果
古角 好美（大阪女子短期大学）

< 睡眠 >

座長 宮下 和久（和歌山県立医科大学）

- 1 - 6 中学生における朝型 夜型生活リズムと起立時の自律神経活動との関連
青地由梨奈¹⁾，森下美佳¹⁾，宮井信行¹⁾，内海みよ子¹⁾，内川友起子¹⁾，辻あさみ¹⁾，
寺田和史²⁾，森岡郁晴¹⁾，武田眞太郎³⁾，宮下和久³⁾
1) 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科，2) 天理大学体育学部，
3) 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室
- 1 - 7 中学生における睡眠状態とストレス症状との関連
森下美佳¹⁾，青地由梨奈¹⁾，宮井信行¹⁾，内海みよ子¹⁾，内川友紀子¹⁾，辻あさみ¹⁾，
戸村多郎²⁾，森岡郁晴¹⁾，武田眞太郎³⁾，宮下和久³⁾
1) 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科，2) 関西医療大学保健医療学部，
3) 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室
- 1 - 8 児童生徒の睡眠と疲労の実態に関する調査研究
岡村波留奈¹⁾，赤澤まい¹⁾，大川尚子¹⁾，平田まり¹⁾，野口法子¹⁾，大平雅子²⁾，
正田理沙子³⁾，倉恒弘彦¹⁾⁴⁾
1) 関西福祉科学大学，2) 滋賀大学教育学部，3) 滋賀大学教育学部附属中学校，
4) 東京大学特任教授

- 1 - 9 睡眠の質に着目した保健指導の実践と評価
正田理沙子（滋賀大学教育学部附属中学校），大平雅子（滋賀大学教育学部）
- 1 - 10 中学生におけるインターネット利用状況と睡眠習慣との関連
大平雅子（滋賀大学教育学部），正田理沙子（滋賀大学教育学部附属中学校）

第2会場（2階205教室）

<性1>

座長 小島 美幸（大阪市教育委員会）

- 2 - 1 小学校における性に関する教育プログラムの効果の検討
伊藤敦子，鬼頭英明，西岡伸紀，中村朋子（兵庫教育大学）
- 2 - 2 「育ちゆくからだとわたし」の指導による思春期の発育に対する肯定感の変化
石井有美子，笠原清次，鬼頭英明，西岡伸紀（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
- 2 - 3 中学生における性情報の獲得と性意識形成との関連
有馬美保¹⁾，宮井信行¹⁾，内海みよ子¹⁾，森岡郁晴¹⁾，宮下和久²⁾，武田眞太郎²⁾
1) 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科，
2) 和歌山県立医科大学医学部衛生学教室

<性2>

座長 森岡 郁晴（和歌山県立医科大学）

- 2 - 4 月経痛への対処の指導について
二宮美穂¹⁾，八野久美子²⁾，濱田由実子³⁾，中本真由⁴⁾，山下めぐみ⁵⁾
1) 吹田市立第五中学校，2) 吹田市立青山台中学校。3) 吹田市立山田東中学校，
4) 吹田市立片山中学校，5) 吹田市立高野台中学校
- 2 - 5 高等学校における性教育についての一考察
谷口友加里，伊藤万紀子（大阪府立柏原東高等学校），
平田まり（関西福祉科学大学）
- 2 - 6 大学生の性感染症の認知・知識・意識と予防行動との関連
中村朋子¹⁾²⁾，齋藤充子¹⁾，森田富士子¹⁾，石見幸子¹⁾，鬼頭英明¹⁾
1) 兵庫教育大学大学院，2) 兵庫大学

<医薬品，紫外線等>

座長 鬼頭 英明（兵庫教育大学）

- 2 - 7 志賀中学校区における薬教育の実践から
谷川尚己¹⁾，田中久嗣²⁾，守谷まさ子³⁾，金森雅夫¹⁾，松田保⁴⁾
1) びわこ成蹊スポーツ大学，2) 志賀中学校，3) 京都府学校薬剤師会，4) 大和大学
- 2 - 8 教員養成系学生における紫外線教育についての意識調査について
浅井千恵子（花園大学），井上文夫（京都教育大学）
- 2 - 9 効果的な薬物乱用防止教育に向けた教員養成大学と薬物取締機関との連携の在り方
堀木理紗子（兵庫教育大学），岩田満夫，高橋正（近畿厚生局麻薬取締部神戸分室），
赤井育代（川西高等学校），小野麻美子，久保勝利，坂田敦子，館沙央理，松本昌子，
西岡伸紀，鬼頭英明（兵庫教育大学）

2 - 10 起立性調節障害をめぐる家庭と学校の連携について

松本昌子, 小野麻美子, 久保勝利, 坂田敦子, 舘沙央理, 堀木理紗子, 西岡伸紀,
鬼頭英明(兵庫教育大学大学院)

第3会場(2階206教室)**<体力・スポーツ>****座長 後和 美朝(大阪国際大学)**

3 - 1 最近の全国平均体重の減少傾向をめぐって

五十嵐裕子¹⁾, 後和美朝²⁾, 松本健治³⁾, 宮井信行⁴⁾, 宮下和久³⁾, 武田眞太郎³⁾

1) 和歌山医大・院, 2) 大阪国際大, 3) 和歌山医大・衛生, 4) 和歌山医大・保健看護

3 - 2 女子学生における筋肉量と生活習慣との関連 市販体組成計を用いた分析から

間瀬知紀¹⁾, 宮脇千恵美²⁾, 小原久未子³⁾, 奥野紗織³⁾, 甲田勝康⁴⁾, 藤田裕規⁴⁾,
中村晴信³⁾

1) 京都聖母女学院短期大学児童教育学科, 2) 平安女学院大学短期大学部,

3) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科, 4) 近畿大学医学部公衆衛生学

3 - 3 大学生における将来の運動に対するモチベーションについて

宮脇千恵美¹⁾, 間瀬知紀²⁾, 小原久未子³⁾, 甲田勝康⁴⁾, 藤田裕規⁴⁾, 奥野紗織³⁾,
中村晴信³⁾

1) 平安女学院大学短期大学部, 2) 京都聖母女学院短期大学,

3) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科, 4) 近畿大学医学部公衆衛生学

3 - 4 中学生における体力と傷害経験との関係

笠次良爾(奈良教育大学保健体育講座)

3 - 5 スポーツ外傷・障害の予防及びケアに係わる養護教諭の役割

~ 高等学校運動部顧問と整形外科医との連携を通して ~

山本順子¹⁾, 柳田博美²⁾, 西岡伸紀³⁾, 鬼頭英明³⁾

1) 兵庫県立高砂南高等学校, 2) 兵庫県立加古川医療センター, 3) 兵庫教育大学大学院

<ライフスキル等>**座長 中村 晴信(神戸大学)**

3 - 6 自尊感情, 社会的スキル, コーピングスキル, 土日の過ごし方の関連性

小学校高学年児童対象の質問紙調査より

笠原清次, 石井有美子, 鬼頭英明, 西岡伸紀(兵庫教育大学大学院学校教育研究科)

3 - 7 小学校中学年を対象としたセルフエスティーム育成プログラムの効果

坂田敦子, 小野麻美子, 久保勝利, 舘沙央理, 堀木理紗子, 松本昌子, 鬼頭英明,
西岡伸紀(兵庫教育大学大学院)

3 - 8 中学校保健体育科教員の小单元に対する指導の意識

上田裕司¹⁾, 鬼頭英明²⁾, 西岡伸紀²⁾

1) 京都市立加茂川中学校, 2) 兵庫教育大学大学院

3 - 9 高校生における自律的動機づけとレジリエンスとの関連

久保勝利，小野麻美子，坂田敦子，堀木理紗子，松本昌子，舘沙央理，鬼頭英明，
西岡伸紀（兵庫教育大学大学院）

第4会場（4階405教室）**<メディア等>****座長 西岡 伸紀（兵庫教育大学）**

4 - 1 小学生におけるメディアの複数使用による健康への影響

中村晴信¹⁾，小原久未子¹⁾，奥野紗織¹⁾，甲田勝康²⁾，藤田裕規²⁾，間瀬知紀³⁾，
宮脇千恵美⁴⁾

1) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科，2) 近畿大学医学部公衆衛生学，

3) 京都聖母女学院短期大学，4) 平安女学院大学短期大学部

4 - 2 女性のボディイメージ形成の要因に関するメディア分析の一考察

舘沙央理，小野麻美子，久保勝利，坂田敦子，堀木理紗子，松本昌子，西岡伸紀，
鬼頭英明（兵庫教育大学）

4 - 3 高校生のスマートフォン等情報機器使用と姿勢との関連

金子敏雄¹⁾³⁾，山内雄貴¹⁾，井上文夫²⁾

1) 京都教育大学大学院，2) 京都教育大学，3) びわこきららこども園

<大学生の健康管理>**座長 辻井 啓之（奈良教育大学）**

4 - 4 私費外国人留学生のアルバイトの実態とそれが日常生活に及ぼす課題に関する研究

藤原本代，斉藤充子，中村朋子，石見幸子，森田富士子，藤本芳英，伊藤敦子，
西岡伸紀，鬼頭英明（兵庫教育大学大学院）

4 - 5 本学医学部の学生の傾向と学生相談室の課題

小谷典子，池田行宏（近畿大学医学部附属病院安全衛生管理センター）

4 - 6 医学部生におけるB型肝炎抗体獲得のための方策

池田行宏，小谷典子（近畿大学医学部附属病院安全衛生管理センター）

4 - 7 若者のデートDVの特徴と予防啓発教育の必要性

松村歌子（関西福祉科学大学）

<発達障害等>**座長 井上 文夫（京都教育大学）**

4 - 8 発達障害の児童とのかかわりをとおしての一考察（実践報告）

佐野智子（大阪教育大学大学院 養護教育専攻）

4 - 9 発達障害児の保護者支援 保護者のエピソード分析から

吉田順子，岡本陽子（藍野大学）

4 - 10 中学生の自転車の乗り方についての意識調査

自動車教習所で実施する交通安全教室に着目して

谷川尚己¹⁾，谷口嘉男²⁾，松田保³⁾

1) びわこ成蹊スポーツ大学，2) 八日市自動車教習所，3) 大和大学

参加受付等のご案内

受付時間・場所

平成26年7月5日（土）9：30～ 関西福祉科学大学学園4号館1階ロビー

受付コーナー

受付コーナーは、以下のように分かれています。該当するコーナーで手続きをお願いします。

名誉会員

- ・名誉会員受付で名札と講演集をお受け取りください。

評議員

- ・評議員受付で参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・平成26年度年会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。年会費の納入がない場合は、当日会員と同じく参加費が2,000円となりますので、ご注意ください。

一般会員

- ・一般会員受付で参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・平成26年度年会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。年会費の納入がない場合は、当日会員と同じく参加費が2,000円となりますので、ご注意ください。

当日会員（参加費：一般2,000円、院生1,000円、学生500円）

- ・受付で記入表を受け取り、必要事項を記入した後、参加費をお支払の上、名札と講演集をお受け取りください。

新規入会希望者

- ・受付で入会申込用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。

特別講演・シンポジウムの演者

- ・受付で名札と講演集をお受け取りください。

ランチョンセミナー（無料）

- ・準備の都合上、ご参加の数を把握いたしたくできるだけ、平成26年6月27日（金）（締め切りを延長しました。）までに、参加申込書を明記の上、第61回近畿学校保健学会事務局（Eメール送付先：61ksha@fuksi-kagk-u.ac.jp）に送付して下さい。

懇親会（会費4,000円）

- ・準備の都合上、ご参加の数を把握いたしたくできるだけ、平成26年6月27日（金）（締め切りを延長しました。）までに、参加申込書を明記の上、第61回近畿学校保健学会事務局（Eメール送付先：61ksha@fuksi-kagk-u.ac.jp）に送付して下さい。

- ・会場：関西福祉科学大学学園本館2階食堂

- ・参加は事前申込ですが、当日も若干名の方は受付いたします。

- ・懇親会に参加される方は、学会場の受付において、会費をお支払いください。

名札には氏名・所属をご自身でご記入の上、会場では必ずご着用ください。

詳細は、第61回近畿学校保健学会のホームページ（<http://www.61ksha.com>）をご覧ください。

一般演題発表者の方へ

前演者の講演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に、ご着席ください。

口演時間7分，討論時間4分です。時間厳守をお願いします。

スライド発表はすべてコンピュータ（PC）を使用いたします。動画あるいは音声を使用されない場合は，PCは学会側で準備いたします。動画等ご使用の場合には，下記 をご参照ください。

画面の解像度はXGA（1024×768）です。このサイズより大きい場合，スライドの周囲が切れてしまいますのでご注意ください。

発表用パワーポイントファイルは，平成26年6月30日（月）までに学会事務局61ksha@fuksi-kagk-u.ac.jp宛にお送りください。ファイル名は「演題番号・筆頭演者名」としてください。ただし，ファイル容量が10MBを超える場合には，期日までにCD等で郵送してください。どうしても間に合わない場合には，事務局まで，ご一報ください。当日は，発表データをUSBメモリでお持ちくださり，9時30分までに会場PCにセットしてください。他のメディアは受付できません。データは「発表データ作成要項」に従って作成してください。念のため，ウイルスのチェックをお願いします。データは発表後に，事務局で消去させていただきます。

動画あるいは音声を使用する場合には，ご自身のPCをお持ち込みください。お持ち込みが可能な機種は，モニター出力端子にDsub-15ピンが装備されているものに限りです。薄型PCで出力端子の規格が異なる場合には，接続アダプタをご用意ください。また，学会側が準備したプロジェクターと接続できない場合に備え，「発表用データ」を入れたUSBメモリを，バックアップとして必ずお持ちください。

発表データの作成は，Windows版Power Point 2003/2007/2010でお願いします。Macの方はWindowsに変換し，あらかじめ確認をお願いします。

フォントはOSに標準装備されたもの（MS明朝，MSゴシック，Times New Roman，Arial，Century）をご使用ください。

発表セッションの30分前にはお越しくください。

配布資料がある場合は70部を準備し，発表30分前までに各会場の受付に提出してください。

座長の先生方へ

前座長の登壇後前方の次座長席に，ご着席ください。

受け持ち時間の進行は一任しますが，1題あたり11分以内でご進行いただきますようお願いいたします。

なお，発表者交替のため，別に1分を想定しています。

慣例により，後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。年次学会事務局へ提出をお願いいたします。締切は平成26年7月31日（木）です。

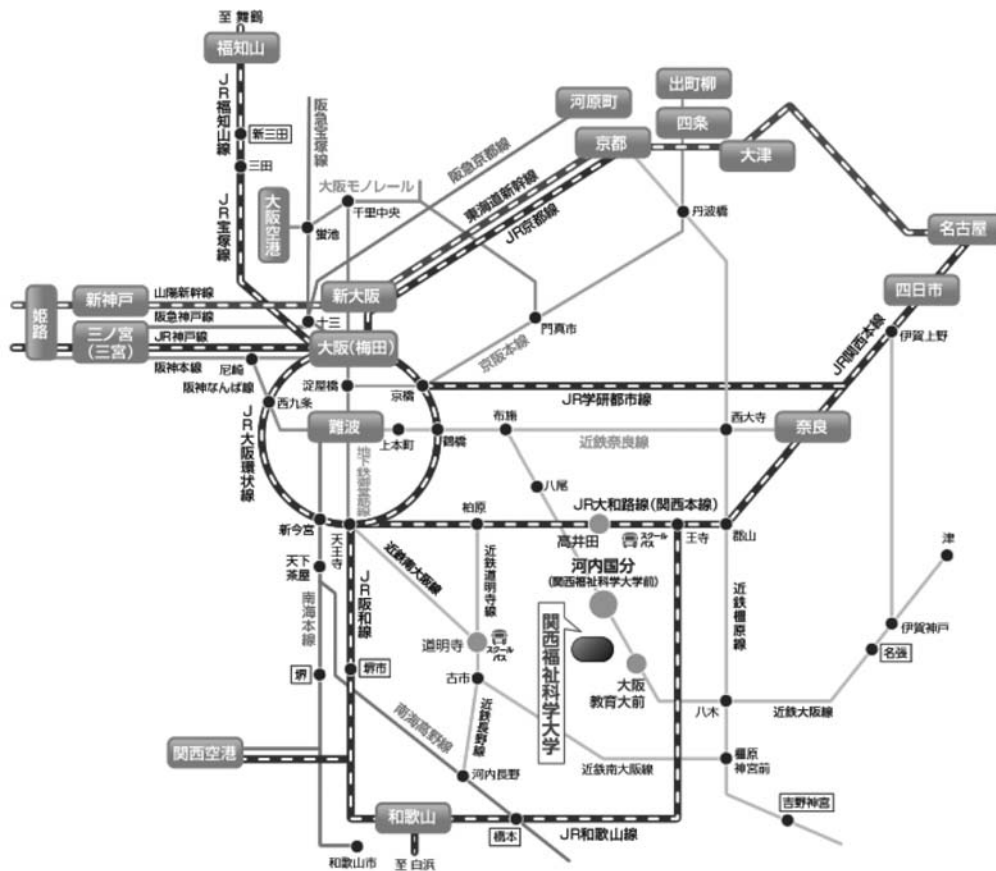
その他

- ・ 駐車場は準備をしておりますが，できるだけ公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの方は，駐車場まで誘導させていただきますので，大学正門でその旨お申し出ください。
- ・ 近鉄大阪線河内国分駅，JR高井田駅，近鉄南大阪線古市駅よりスクールバスをご利用ください。バスの運転手に学会参加の旨をお伝えの上，ご乗車ください。バス乗り場，時刻につきましては，HPでご確認ください。（<http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/profile/access/schoolbus.html>）
- ・ 学会開催時間内は，携帯電話などの通信機器類はマナーモードにするか電源をお切りください。
- ・ 会場は禁煙です。ご協力をお願いします。
- ・ 手荷物預かりのサービスは行いませんので，ご了承ください。
- ・ 昼食は，ランチョンセミナーを予定しております。奮ってご参加ください。

学会会場への案内図

関西福祉科学大学 大学4号館 (http://www.fuksi-kagk-u.ac.jpでご確認ください。)

〒573-0171 大阪府柏原市旭ヶ丘3 - 11 - 1 電話072-978-0088 (大学代表)



主要な駅からのアクセス

- 近鉄大阪線 河内国分(かわちこくぶ)駅
徒歩15分, スクールバス10分
- JR大和路線 高井田駅 スクールバス10分
- 近鉄南大阪線 古市駅 スクールバス20分

スクールバスのご案内

< 行き >

- 国分 学園 8時45分, 9時30分
- 高井田 学園 8時40分, 9時30分
- 古市 学園 8時35分, 9時20分

< 帰り >

- 学園 国分 17時20分, 18時20分,
- 学園 高井田, 古市 17時20分, 18時20分
- 19時20分

懇親会終了後 20時ごろ



学会会場：関西福祉科学大学 大学4号館



昼食：ランチョンセミナーを準備
しておりますが、学園本館1階食
堂は営業しております。

懇親会会場：学園本館2階食堂

学会会場 平面図

大学4号館1階



受付、第1会場、ランチョン、
評議員会・総会、特別講演、
シンポジウム、閉会式

大学4号館2階



第3会場 206 教室

第2会場 205 教室

大学4号館4階



第4会場 405 教室

当日、大学4号館で授業が行われている階がありますのでよろしくお願いいたします。

平成26年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題

日時： 平成26年7月5日（土） 13：20～14：10

場所： 関西福祉科学大学 大学4号館 1階

- 議題： 1．平成25年度事業報告
2．平成25年度決算報告及び会計監査報告
3．平成26年度予算案
4．平成26・27年度役員選挙結果について
5．役員選挙規程の改正について
6．次期学会開催地及び会長
7．名誉会員の承認について
8．学会の活性化について
9．奨励賞選考規程について
10．その他

学校保健安全法施行規則の一部改正について

皆様すでにご承知だと思いますが、「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令（平成26年文部科学省令第21号）」が公布され、職員の健康診断及び就学時健康診断票に係る改正規定については同日に、児童生徒等の健康診断に係る改正規定等については平成28年4月1日から施行されることとなりました。

児童生徒等の健康診断の改正の概要は以下のとおりです。

（1）検査の項目並びに方法及び技術的基準（第6条及び第7条関係）

ア 座高の検査について、必須項目から削除すること。

イ 寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から削除すること。

ウ 「四肢の状態」を必須項目として加えるとともに、四肢の状態を検査する際は、四肢の形態及び発育並びに運動器の機能の状態に注意することを規定すること。

（2）保健調査（第11条関係）

学校医・学校歯科医がより効果的に健康診断を行うため、保健調査の実施時期を、小学校入学時及び必要と認めるときから、小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校においては全学年（中等教育学校及び特別支援学校の小学部、中学部、高等部を含む。）において、幼稚園及び大学においては必要と認めるときとすること。

本学会では身長、座高および下肢長のデータに基づき、数多くの研究発表がなされてきました。座高検査が必須項目から除外されることになれば、今後児童生徒の発育を評価する観点にも影響を与えます。子ども達の身体計測に深く関わってこられた養護教諭の先生方そして発育学に関係する先生方の中で、是非議論してほしいものです。

（文責：白石 龍生）

第3回 データを分析する(1)

和歌山県立医科大学 宮井信行

前回(通信No.134)の関西福祉科学大学の川尚子先生に引き続き、今回と次回の2回にわたって、「データを分析する」のテーマで、データ分析の基礎となる統計学の考え方や基本的なデータ処理の方法について解説させていただきます。

調査や測定を行って収集したデータをどのように整理・分析すれば研究仮説に対して科学的で客観的な解を得ることができるのか、あるいは、先行研究の論文に書かれている結果をどのように読み解いたらいいのか、統計解析は難しいと思悩むことも多いのではないのでしょうか。最近では、統計解析ソフトが進歩して多変量解析などの複雑な解析手法も多く用いられるようになってきたため、このように感じることもしばしばです。しかし、どのようなデータ分析を行うにしても、統計学の理論や考え方を正しく理解しておくことが大切です。今回は、データの特性や尺度、母集団と標本の関係、データの記述的解析などについて述べたいと思います。

1. データの特性と尺度

1) カテゴリーデータと数量データ

データとは、調査や測定を行って得られた数値や、対象となる集団の観測結果のことをいいます。観察する対象の特性には、形や色といった「質的(qualitative)」なもの、大きさや数量といった「量的(quantitative)」なものがあります。質的な特性とは対象を単に区別するだけのものですが、量的な特性は回数や個数を数えたり、計器を用いて測定することで得られるもので、大小関係による距離の情報を持ちます。また、質的な特性のデータは「カテゴリーデータ(categorical data)」、量的な特性のデータは「数量データ(numerical data)」とよば

れ、カテゴリーデータは整数値を、数量データは連続した数値をとります。

2) データの尺度

データの特性に対してある数値を対応させる基準のことを「尺度」といい、「名義尺度(nominal scale)」、「順序尺度(ordinal scale)」、「比例尺度(ratio scale)」、「間隔尺度(interval scale)」があります(表1)。名義尺度とは、「性別(男・女)」、「職業(製造業・農林業・運輸業)」などのようにデータを数値としてではなくグループとして扱う尺度です。例えば、男に「1」、女に「0」などのように、同一カテゴリーに属するものに数値を与えたとしても、その数値は単に標識として与えられるものですので互いに区別する働きしか持たず、順序を変えても構いません。このように質的な特性に付与された数値が名義尺度のデータです。一方、順序尺度とは、「病気の経過(改善・不変・悪化)」や「成績(優・良・可・不可)」などのように、カテゴリーデータのなかでも大小関係の情報を含むデータです。

比例尺度や間隔尺度は、カテゴリーではなく連続した数値をとり、大小関係とともに距離の情報も含みます。このうち、比例尺度は、本質的な零点を持ち、「身長」、「血圧」、「総コレステロール」など測定して得られるデータの多くがこれに相当します。間隔尺度は、零点が任意

表1. データの特性と尺度

■ カテゴリーデータ	
名義尺度(nominal scale) (質的な特性に与えた数値)	職業、死因、性別、人種、 出身地、資格、趣味
順序尺度(ordinal scale) (大小関係の情報を含む)	著効/有効/不変/悪化 痛みが強い/弱い/ない
■ 数量データ	
比例尺度(ratio scale) (本質的な零点を持つ)	年齢、身長、体重、 血圧、総コレステロール
間隔尺度(interval scale) (本質的な零点を持たない)	温度(摂氏・華氏)、西暦、 尺度のスコア

に決められているもので、「摂氏の温度」、「自尊感情尺度のスコア」などがこれにあたります。

3) データの情報量

一般に、個々のデータの持つ情報の詳しさには、数量データ>カテゴリーデータ、また、比例尺度>間隔尺度>順序尺度>名義尺度の関係が成り立ちます。情報量の多い数量データは情報量の少ないカテゴリーデータに変換することができますが(カテゴリー化)、カテゴリーデータを数量データに変換することはできません。例えば、体温が実測されているとき、37.5 以上を発熱と定義して、「発熱あり」、「発熱なし」に区分することや、発熱ありをさらに層別化し、「発熱なし」、「軽度発熱」、「高度発熱」のように区分することは可能です。しかし、「発熱なし」と「発熱あり」の情報のみが得られている場合は体温の実測値を導くことは不可能です。したがって、研究で必要な情報を収集するときには、できるだけ情報量の多い尺度で測定しておくことが望ましいといえます。なお、順序尺度のデータに数値を割り当てることで便宜的に間隔尺度として扱って数量的な分析を行うこともあります(数量化)。

2. データの統計解析

1) 母集団と標本

研究は、漠然とした疑問をできるだけ明確にしたうえで、研究テーマを設定することから始まります。また、テーマが定まった時点で研究の概念上の対象集団「母集団 (population)」が自ずと決まることとなります。ある集団の特性や傾向を知るためには、母集団の構成員全員を対象に調査する(全数調査)のが最も正確ですが、規模が大きくなるほど費用や労力の点で調査が実行不可能となります。多くの場合は、母集団から実施可能な規模の対象集団「標本 (sample)」を選び出して調査(標本調査)が行

われます。

標本調査を行った後、平均や割合を求めたり、度数分布や散布図を描いたりします。しかし、これは標本の姿を知ろうとしているのではなく、標本が得られた背後の母集団の姿を描こうとしているのです。標本から母集団を推測しようとするときは、標本が母集団の特性を忠実に反映していることが必要になります。このような母集団と標本の関係はデータ分析の基本となりますので正しく理解しておくことが大切です(図1)。

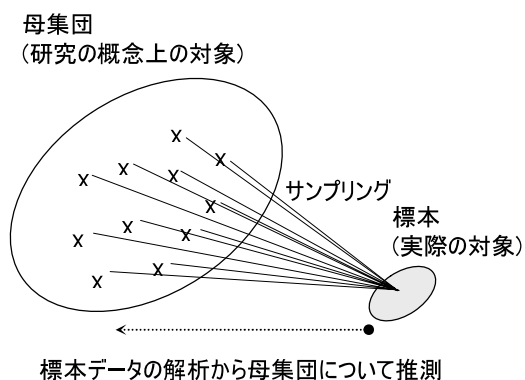


図1. 母集団と標本の関係

母集団を代表する標本を得るためには、調査者の意思や主観を排除し、無作為に母集団から標本を抽出する(無作為抽出)ことが望ましいといえます。しかし、現実的には無作為抽出の手続きをとることは困難であることが多く、例えば、調査者と縁を持つ人や呼びかけに応じた人など、対象者を便宜的、恣意的に選んで調査が行われます。この場合、対象者が母集団を反映しない可能性があり、その程度が大きいほど、標本の結果と母集団の真値との間の「誤差(ズレ)」が広がることとなります。データ分析に際しては、研究の対象者が母集団をどの程度反映しているかを検討し、母集団からの誤差の大きさによっては結果を母集団に当てはめる(一般化・普遍化)ことに限界があることを意識しておくことが大切です。

2) 記述的解析と統計的推論

データを分析するときは、標本において得られた数値を平均や割合などのかたちで要約して示すことが多く、このようなデータ処理を「記述統計 (descriptive statistics)」といいます。また、標本の平均や割合から、数学的な確率論を用いて母集団の平均や割合を推測したり (推定)、標本でみられた平均や割合の差または変数間の関連が母集団にも当てはまるかどうかを判定する (検定) ことが行われ、これらは「推計統計 (inferential statistics)」とよばれます。つまり、研究においては、さまざまな情報を整理・要約して客観的に表現したり、標本の結果からもとの母集団の真値を推論する解析が行われます。

3. 記述的解析

1) データの要約

データはそれぞれを個別に眺めただけでは全体を捉えにくいので、個々のデータの持つ情報は捨て、全体としての傾向や特性を要約して記述します。通常は、ある変数の数値の度数分布をみて傾向を掴んだり、分布特性を端的に表す記述統計量 (基本統計量、要約統計量) を求めることが行われます。

2) 分布の特徴をみる

変数のデータは特定の範囲の数値をとります。ある値には人数が多く、他の値では少ないなどの数値のとり方の状態のことを「分布 (distribution)」といいます。カテゴリーデータの場合は、性質や特性ごとの人数 (度数) で表し、比較的簡単に分布を知ることができます。例えば、血液型であれば、「A・B・AB・O」の4つに分類され、どの血液型が多いか少ないかは容易に判断できます。

一方、数量データの場合は、連続的に無数の値をとるため、カテゴリーデータのように個人

を数値で分類することはできません。そこで、データを大きさの順に並びかえ、ある階級 (範囲) を設定して、それぞれの階級における度数を求め、度数分布表として整理します。さらに、度数分布表をもとに度数分布図を作ると分布の特徴が一層捉えやすくなります。度数分布図としては、ヒストグラム (柱状図) や度数折れ線、累積度数折れ線などが用いられます。

3) 記述統計量を求める

カテゴリーデータ

名義尺度や順序尺度として得られているデータは、「割合 (proportion) または百分率 (percent)」で示されることが多く、その他に「比 (ratio)」が使われることもあります。割合と比はどちらも分数で表される点において似ていますが、割合は分子がすべて分母に含まれるのに対して、比には分子と分母の間に全体と部分の関係がありません。例えば、BMIを求めた合計人数で、そのうち肥満であった人数を割ったものは肥満「割合」で、肥満者について、男の人数を女の人数で割ったものは男女「比」(または性比) となります。

数量データ

比例尺度や間隔尺度のデータについて、数値の分布特性を表現する指標には、分布の中心がどのあたりにあるかを示す「代表値」と、測定値がどの程度ばらついているのかを示す「散布度」があり、この代表値と散布度の2つの情報を示すことで分布の特徴を捉えることが可能になります。

A. 分布の代表値 (中心位置の指標)

代表値とは、分布の中心位置を示す数値のことで、「平均値 (mean)」、「中央値 (median)」、「最頻値 (mode)」があります。平均値は、ある変数についての個々の観測値を合計して標本

数で除した数値のことです。平均値には計算方法によって算術平均、幾何平均、調和平均、移動平均などがありますが、単に平均というときは算術平均を指します。

中央値は、ある変数の個々の観測値を小さいものから大きさの順に並べたとき、その中央に位置する数値のことです。データ数が奇数のときは、「 $(n+1)/2$ 番目の数値」、データ数が偶数のときは、「 $n/2$ 番目の数値」と「 $(n+1)/2$ 番目の数値」を平均して求めます。この中央値は分布に歪みや外れ値がある場合に用いられません。

最頻値は、ある変数の個々の観測値のうちで最も出現頻度が高い数値で、度数分布表やヒストグラムをもとに計算されます。

B. 分布の散布度（バラツキの指標）

散布度とは、データが代表値の付近に集中しているか、散らばっているかを示す数値のことです。「分散（variance）」、「標準偏差（standard deviation）」、「範囲（range）」、「四分位範囲（interquartile range）」などがあります。ある変数の個々の観測値と平均との差（偏差）を2乗し、これを全データについて合計した後に、「標本数 - 1」で割ったのが分散です。また、分散は偏差を2乗して求めているので、分散の平方根をとってもとの単位に戻したものが標準偏差です。分散や標準偏差は平均値と対応させて使用され、数値が大きいほどデータのばらつきの程度が大きいことを意味します。

ある変数の個々の観測値を大きさの順に並べたときの最小値と最大値の差が範囲です。また、全体を $1/4$ （25%）に区切る値を四分位数とよび、小さい方から第1四分位数、第2四分位数

(=中央値)、第3四分位数となります。四分位範囲は、第1四分位数と第3四分位数の差で、データの半数（50%）がこの範囲に入ります。範囲や四分位範囲は分布の歪みの影響を受けにくく、中央値に対応させて用いられます。

分布の形状と記述統計量

比例尺度や間隔尺度などの数量データの数値は、左右対称の釣り鐘型の分布（正規分布）をとることが多いですが、分布の裾が右（高値側）に長かったり、左（低値側）に長かったりといった左右非対称の歪んだ分布を示す場合もあります。平均値は、分布の形状が正規分布に近いときには分布の中心付近に位置しますが、歪んだ分布では中心から離れてしまうため、代表値として適切とはいえません（図2）。

データを要約するときは、あらかじめヒストグラムや棒グラフを描いて分布の形状を確認し、正規分布と見なせる場合には平均値や標準偏差で、正規分布から逸脱した歪んだ分布の場合には中央値と範囲または四分位範囲で示すことになります。

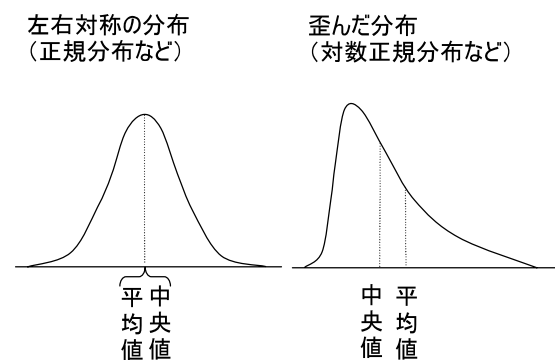


図2. データの分布と代表値

平成25年度 近畿学校保健学会第3回 幹事会 議事録

日時：平成26年2月23日（日）

午後3時～5時

場所：大阪教育大学天王寺キャンパス

西館 第8講義室

出席：【幹事長】宮下

【常任幹事】白石，森岡，西岡

【幹事】（滋賀）板持，谷川，中川，

（京都）藤原，

（大阪）大川，楠本，後和，吉岡，

（兵庫）鬼頭，中村，

（奈良）笠次，辻井，（和歌山）武田

【事務局】南出 （計18名）

欠席者：井上，笹山，小山，三野，川畑，大平，

春木 （計7名）

議事

1) 前回議事録の承認について

宮下幹事長より説明があり，承認された。

2) 学会通信の発行について

白石常任幹事より説明があり，No.137は第61回近畿学校保健学会の開催要項を中心に発行される旨の報告があった。

3) 第61回近畿学校保健学会について

第61回事務局長の大川幹事より，開催要項に基づいて説明があった。

今回は立地上，昼食場所等の不便さがあり，ランチョンセミナーを行なう旨の報告があった。

演題締め切りは4月10日とし，通信に先だってホームページを通じて募集を始めることになったことが報告された。

また，奈良の辻井幹事より，平成27年度の第62回近畿学校保健学会は奈良女子大学の高橋裕子先生を学会長として，平成27年

6月27日（土）に開催する予定であるとの報告があった。

4) 役員選挙について

藤原選挙管理委員長より説明があり，1月26日に投票用紙を開票したこと，また投票率の報告があった。なお，評議員選挙の際，各地区の選出する評議員数の印字に誤りがあり，当日の選挙管理委員会で各地区委員立会いのもとで，正しい人数を選んだ旨，報告があった。

5) 選挙制度のあり方について

宮下幹事長より，平成26年1月26日（日）に選挙制度のあり方委員会が開催され，選挙制度のあり方について検討された旨の報告があった。役員の任期を2年から3年に延長すること，評議員選挙のみ行ない，上位当選者から幹事を選任することが提案された。さらに，地区幹事を補強するために，各地区1名の推薦枠を追加して認めることなどが大筋合意された。これらの意見をもとに，再度，選挙制度のあり方委員会で検討し，次回幹事会に諮ることとした。

6) 名誉会員の推薦について

滋賀県の中川幹事より，1名の名誉会員の推薦があった。次回の総会・評議員会で承認を得ることを全員一致で合意した。

7) 奨励賞選考規程（案）について

森岡常任幹事より近畿学校保健学会奨励賞選考規程（案）が提案された。今年度より，学会として優れた演題を発表した者に奨励賞を贈ることとなった。規程（案）は細部訂正の上，次回幹事会で承認を得ることとなった。

8) 第2回研修セミナーについて

西岡常任幹事より，第2回研修セミナーが，12月23日（月・祝日）に開催され，今回は年末の忙しい時期であったため，6名

の参加であったが、有意義な研修が行なわれた旨の報告があった。

セミナー参加者には、学会入会の勸奨を目的として、当該年度の学会通信を送ることとなった。(No.137学会通信掲載報告参照)

9) 学会通信広告掲載について

森岡常任幹事より、学会通信への広告掲載についての説明があった。広告掲載料、

掲載条件について提案がなされた。

10) その他

年次学会の当日参加者には、学会入会の勸奨を目的として、当該年度の学会通信を送ることとなった。

次回の新旧合同幹事会は、第61回学会場・関西福祉科学大学で、下見を兼ねて、平成26年6月1日(日)に開催されることとなった。

編集後記

学会通信第138号をお届けします。今回は、第61回近畿学校保健学会のプログラムが掲載されています。多数の一般演題が予定されており、当日の活発な意見交換が楽しみです。学会長の平田まり先生はじめ事務局の皆様のご尽力で、盛会裏に学会が進行されるものと、今から楽しみにしています。また近畿学校保健学会では初めて、ランチョンセミナーが開催されます。7月5日に関西福祉科学大学でお会いしましょう。

さて学会新企画は、2回まで終了し、しばらく掲載が出来ない状況でしたが、今回和歌山県立医科大学保健看護学部の宮井信行教授が、執筆を快くお引き受けくださいました。編集担当幹事としてお礼申し上げます。

本号をもちまして、我々常任幹事も交替ということになります。学会新企画の掲載および学会セミナーの開催と少しですが、新しいことが出来たかなと思っています。2期4年間にわたって幹事長を務められました宮下幹事長にお礼を申し上げるとともに、近畿学校保健学会の益々の発展を祈念して、編集後記といたします。

白石 龍生

